（明治四十一年十二月二十日第三種郵便物認可）　（日刊）　月曜及祭日之翌日休刊　明治四十四年六月十三日　（火曜日）　第七百二號　（一）

京城新報

人の一生は重荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らす

明治四十四年紀元二千五百七十一年
定價　一部金三錢　一ヶ月金九十錢
月曜日及大祭日の翌日は休日（日刊）
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久耕一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社
仁川支局
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町七番地

東拓會社評（二）

代議士大內暢三氏談

◎東拓が特種會社であることは言ふ迄もない、而して彼は三十萬金の補助を受けてをるだけは公益の爲に犧牲とならねばならぬ義務を負擔して居る、又一方には大切なる幾多の主人公即ち株主を控へてをる、宇佐川總裁なる者は其等株主の番頭に過ぎないことは今更喋々を要しない、よし公益の爲に三十萬金を提供しながらも、會社としては年八朱若くは一割の配當利益は之を算出するの覺悟なかる可らずである、然るに現今朝鮮の田畑が個人買收利準が一割五六分に相當してをるのを見て一割の利準見當迄に高價の田畑を買收せんとして騷ぎ廻つて居る東拓會社の舉動は抑も誰を利せんとするものなる乎

◎會社が高價を以て買收する、之れを鮮人の買收價格に比せんか遙かに差あり、而して其差額は誰が利益して何人が損するかと云ふ事を、會社は能く諒解してをるや否やを疑はざるを得ず

事重複に渉れども其利益は田畑を賣却したる朝鮮人若くは中介の業に當る仲買人が占得するものであつて、損する者は獨り我國家が托せんとする甲種移民に外ならぬのである。

◎本國の移民なるもの、實質を具備してをるものは、富豪者にあらず又貧者にあらず、必らず中產家と貧者との間にあるもの即ち中產家の下なるものにして貧者の上なるものである、家宅及び田畑一二反を所有すれども以て衣食を給するに足らずと云ふ如き者が去つて此朝鮮に來り滿足に衣食せんとするのが目的である、是等本國では中等社會に仲間入をすることの出來ない分子が此朝鮮に來つて始めて中等社會を形成する、而かも是等が將來朝鮮に於ける社會の骨子となるものである。

◎我本國に於ける貧者のみに限らず、凡て天下の貧者は最も複雜なる社會、云ひ換ゆれば朝夕の業務頻繁なる所にあらずんば生計を營むに最も困難を感ずるものである、殊に自然に勞働を制限せられたる小農力役の民は尙更の事である、之を殺せんに地主及び小作人の經濟事情は本國と此朝鮮とは全く反比例をなしてをる、故に朝鮮に於て農業は有利なりとするは是れ地主を指すの謂である、之に反して小作人の生活狀態は副業なき本國に比して其れだけ不如意である事を思はねばならぬ苟くも本國の移民を誘導する東拓の如きは此點に就て最も愼重なる考慮を要すべきである。

◎勿論、本國は人口地積の割合が甚だ窮屈である、故に時に或は農家は地積さへあれば申し分なしと云ふ經濟上の迷信に陷つてをる者尠しとせず、爲に東拓會社が一度び移民規則を標榜して數町の田畑を與ふべしと叫ぶは確かに彼等を誘致するの便宜あることは言ふ迄もなき事なるが、さて彼等をして鮮土に安息せしむるといふ點に至つては東拓會社に向つて今一層の研究を望まざるを得ないのである。

◎將來の朝鮮社會を憂へて、東拓は田畑買收に着手したりとせば、何んぞ土地買收希望者に資本の援助を與ふるに務めざるか、又移民を誘致するにしても、現行の移民規則によつて、何から何までも會社之れが責任を帶びんよりも寧ろ義務的に資本の一部分は之を移住者に負擔せしめ、其一半は會社之れに應援するといふ、即ち資金融通の方法を執るといふ事が移民も會社も共に與に便利にして且つ移住の目的を遂ぐる上に甚だ簡便で氣易いことであると思ふ。

雜報

●所有權なき土地開拓

土地調査の進行に伴ひ從來何人の所有權もあらざる土地は調査の際に於て現在の使用者に其所有權を認定さるべきよしの風說流行し鮮人側にては一も二もなく是れを信用し昨今我れ勝に河井堤防の敷地を冒耕し又は許可をも得ずして未墾地の開墾若くは利用を爲すもの夥しきが河井堤防の敷地は是れが冒耕を認容すべからざるは勿論にして未墾地開墾及利用の如きも相當權限に基くものゝ外は決して其所有權を認めざるべからざるに付き各道內務部長は府尹郡守に移牒して右違反者を出さゞるやう警告せりと云ふ

●江華島の道路

江華郡にては先般道路改修の規程發表せらるや直ちに郡內道路改修の設計を立案して道路の許可を得三日間に約四萬人の夫役を徵發し全郡の道路を殆んど車馬の充分に通行し得る樣修築し終れりと

●鮮人と土地測量

朝鮮貴族には過般多大の恩賜金あり其他官吏の非免者等にも夫々賜金ありたる等にて彼等の心ある者は地方に土地を購入する者尠なからず一方內地よりは農事經營の有望なるを知りて渡來し土地を買入るゝもの又頗る多きため一般に土地の價格の高騰せしめつゝあるが之等土地價格の高騰は其處所有者をして將來の有望なるを覺知せしめたる結果從來土地調査局の調査測量等には幾分疑惧の念を抱き其申告等を怠り居るもの此際一日も早く土地の實測を濟まし所有權の確定登記を希望するに至り甚だしきは測量調査を實行ありたしとて直接請願し來るものもあり一般に土地に關し權利思想の發達と土地の將來に希望を繫ぐの狀勢を呈するに至れりと云ふ

●甘藷苗の配付

京畿道廳にては一般農民が例年春夏の候に於て糧食に缺乏を來たし非常の窮困を訴ふるの慘狀を救濟するの目的にて麥の間作ともなり又土地の比較的不良なる瘦地にても耕作し得耐貯藏にも堪ね得るを以て普ねく甘藷苗を配付するとの計畫を充て京城、水原、富平の三個所に於て苗の養成中なりしが好結果なるより本月中旬頃より各郡に向て約十町分を植付け得るの程苑苗の配付を開始する筈なるが鮮人農夫より配付方願ひ出づるもの非常に多く到底希望を充たし能はざるべしと云ふ

●本年度植樹數

今春來の植樹數は目下農商工部に於て調査中なれば約三百萬本以上なりと

●命令航路の變更

從來木浦を起點として濟州島及群山へ往復し居りたる木浦福田有造氏に對する命令航路は萬浦にて止むることとし寄港地中の碧波津を石水營に改め十日實行することゝなれり

●遞信省と朝鮮航路

遞信省の所管に屬する浦鹽朝鮮及北清方面に於ける近海航路の補助は一兩年の內其期限終了するを以て同省にては今般管船局船舶課長今岡純一郎氏を派遣し調査せしむる筈にて去る八日釜山に到着直ちに北鮮方面へ赴きたるが同地方調査の上は南西岸を視察し仁川より京城に入り更に鎭南浦及新義州を經て關東州に到る筈なるが其視察結果に依りて遞信省の近海航路補助問題を確定すべしと云ふ

●獨逸貴族等金剛山探險

來京中の獨逸男爵チュルチー氏同夫人外外人數名は江原道金剛山探險の爲十日午前出發

●慈惠醫院の移轉

京畿道慈惠醫院は今回水原郡南部面舊觀察道跡へ移轉

召使れ初　第七十四回

黑法師

相生は澤野ノ顏を沈と見詰めて

「その分別を申すよりは、兼て仰せ含めさせの事でござりまするで、私腹心の者共遣ひ、取り調べ置いたれ道どの御身の上、それを具にれ物語り申し上げるが御工夫の資材となることでござりませぬかな」

「れ道どの御身の上、れ取り調べ付いたちやの」と澤野は曇りたる眉を動かす

「御實父は麻布正木佐五右衛門、それに佐十郎と申す、品行惡い兄御前あらせの事、早や御存じでござりませうな」

「それも存じ、海老屋德兵衛娘分として、國尾樣部屋子にれ上りまめ〳〵しうれ勤めの事、これも皆な存じてゐるわの」

「私初耳はれ道どのゝ、德兵衛倅德右衛門どの戀中でござります」

「れゝ、れ道どの身の上に、それの秘密でござるちや喃」と澤野は思はず乘り出して「こりや屈竟、眞實でござるかの」

「眞實も大眞實、海老屋店に任る者でこの評判知らぬ者山一人もござりませぬ、即ちれ道どの恙なくれ勤め、れ下りあらせの時を待つて、彼の德石衛門と芽出度く祝言のれ盃なさせられるれ約束といふことでござります」

「こりや好いことがれ耳に入つた、れ道どのれ命に掛るほどの手蹟、これを種に……」と澤野は低く頭を垂れて「ちと考ねることござるわの」

「此調べれ役に立ちまするかな」

「れ道どの美しいれ首に繩が付いた、運命の末も知れた、然しそれには德右衛門を手懷けるが肝要、そもじ樣れ近付きかの」

「何時やら御代參の歸り途、海老屋奧の間、目通りを許したことでござります、町人ながら劍術の一手二手は心得あるべき屈竟の者でござります」

「ろもじ樣、れ手に付くでござらうかの」

「さま〳〵手術を廻らして、れ役に立つべき工夫致すでござります」と相生は得意顏に云ひつゝ、れ道どの御舍兄佐十郎さまにはあなた、れ手蔓あるやうに仰せござりましたな」

「それには、些と手蔓もあつて、ろと召抱への談合も致しあるが、女共が抱ゆるとは違ひ、男はれ表れ役人の手を借らねばならぬ要もあるで、さまざま面倒もござるちやよ」

「然し、れ道どのを御前から遠ざけて國尾樣に具申さするは、佐十郎樣をれ手にれ入れ遊ばすが第一の手術でござりませうぞ」

「私もそれを思ふで、如才なく手を廻はしある、お表御用人安藤八左衛門樣喃、あの方御舍弟へは、私の從妹が進げてあるで喃」

「其儀も承はり居りまする、するとその安藤樣れ手から、佐十郎殿れ召抱への手順をも經させられたでござりますか」

「それが、何のあたりまで運びあるか、奧とれ表どの間には、高い山が聳ねてあるで、同じれ屋敷の中にありながら往來も自由にならぬで喃」と澤野は力なく呟きて「これには頓と困るちやよ」

「佐十郎どのは、東軍流の劍術極めさせた氣でござりまする、つまりはそれを云ひ立てにれ取り立てあらせられるでござりませう」

「勿論の事、氏と云ひ系性と申し、御指南番には屈竟の方でござるわの」

東京電報（十二日著）

●東宮靜岡行啓　皇太子殿下には近衛師團演習御見學の爲め奥大將を隨へさせられ十日午後一時、十分新橋驛御發車靜岡に行啓あらせられたり

●長者議員當選　本日を以て開票せられたる各府縣多額納税者議員當選者左の如し
東京（濱口吉右衛門）神奈川（小野光景）[illegible]群馬（江原芳平）山形（細谷長太郎）[illegible]石川（大家七平）福島（鈴木三郎）滋賀（藤井善助）富山（佐藤助九郎）[illegible]

●總督府技師任命　航路標識管理所技師青山貞之助氏は朝鮮總督府通信技師高等官四等に敍せられ鐵道院技師河江秋雄氏は總督府鐵道局技師高等官六等に任命されたり

●都市人口增減　近來都市の人口漸次著しく增加し就中東京大阪、神戸、名古屋の如きは最近五箇年間約八十萬の激增を見るが奈良、松本、仙臺、盛岡、秋田、福井、金澤、高岡、松江、尾道、丸龜、小倉等の各市に於ては年々五六千の人口減退しつゝあり

●能樂會に下賜金　皇后陛下には十日九段靖國神社境内の能樂會に對し特別の思召を以て金一千圓御下賜の御沙汰ありたり

●水難救濟總會　帝國水難救濟會にては來る二十四日午前八時帝國鐵道協會に於て通常總會を開き四十三年度事業全部の報告を爲し終つて會員一同に餘興として大相撲を觀覽に供する由

●藤井代議士渡鮮　國民黨代議士藤井善助氏は十一日京都發渡鮮の途に就けり

雜報

●銀行令と貸金業
▲多數の違反者に就て
朝鮮に於ける銀行業は內地人側に在ては統監府令を以て定められ又朝鮮人側に就ては舊韓國法律銀行條例を襲用し居りしが[illegible]「銀行」の文字を用ゆるを禁じて「銀行と爲す」と規定し更に其則に於て類似營業の取締を行ひ「資金を貸付し或は手形の割引を爲す等金融機關の作用を兼務とするものに對しては本令を適用す」と定めあり此規定に依れば一切の貸金業者は從來銀行條例の羈束を受けざりしも其實は全く之に反し殆んど放任の狀態に在るもの〻如し現に最近[illegible]既設會社より屆出ありたる貸金業者の業務狀況を査察せしに[illegible]貸金業を營めるのみならず手形の割引きへ行へるものあり、進んで個人側を調査せば其類少からざるや疑ふべからず若し嚴格に銀行條例を勵行せんか多數の違反者を羅致さる〻に到るべし然れども朝鮮の現狀に顧みる時は資金の放下を要すべき事業多く從て貸金業者の存在を保つ畢竟之が爲めなる故に之に對し餘りに苛察の取締を行ふが如きは如何ならんと[illegible]係官憲中現に其意見を異にするものあるより目下協議中なりといふ

●朝鮮牛と露國
▲露國輸出激增
……鳥越總督府技師談……
露國は近年非常に牛肉の缺乏を感じ其供給を[illegible]に歡迎の狀あるは洵に[illegible]今茲に四十年來の[illegible]輸出額を示さんに其增加趨勢如左

年別	頭數	輸出額
四〇年	[illegible]	二八二、五三三圓
四一年	[illegible]	二九九、九二一
四二年	[illegible]	三三九、五九二
四三年	[illegible]	五五一、九七七

[illegible]輸出額を見るに四十[illegible]頭にして露國向輸出[illegible]額[illegible]若夫れ內地向[illegible]一方なるに露國に對[illegible]の爲めに好箇の販路[illegible]進の傾向あり思ふに[illegible]て大に其意を强ふす

●朝鮮牛の改良　十三道[illegible]果して幾千を算す[illegible]二年末の調査に據り[illegible]十三萬八千五百一頭[illegible]に關する戶籍すら備[illegible]在ては到底之を以て[illegible]能はず益々其實數は[illegible]きなり而して產牛は[illegible]にして決して輕視し[illegible]其數の增殖を講せ[illegible]業種に對し充分其改[illegible]之が目的に向て漸次[illegible]疑し居れる所以なる[illegible]增加し得べきかに就[illegible]如何となれば朝鮮產[illegible]

●昨年の鑛產額　農商工部の調査に成れる朝鮮の鑛產額は左の如し

金產額	五、〇五二、九五〇、八三〇
銀同	六、五五五、八六〇
銅同	二一、四八八、〇〇〇
鐵同	四二一、四〇七、九四〇
石炭同	三八五、二三一、一〇〇
黑鉛同	一四九、八六六、七一〇
計	六、〇三七、四〇〇、四五〇

但し右は從業者の申告に基き計上せるものにして遺漏杜撰到底信憑すべからざるは勿論なりと現に金產額の如き五百餘萬圓と稱するも年々輸出は六百萬圓を算するにても知るべし然らば實際の鑛產額は千萬圓を下らざるべしと

●支那擴輸入の大勢
朝鮮に需要ある食鹽は從來多羅羅方面の煎熬鹽其他日本鹽臺灣鹽なりしが昨今支那鹽の輸入するもの激增し主として仁川に於て再製せられ各地方に廻送し居りしも更に釜山方面へも廻荷しつゝあり昨年の如きは約九千三百萬斤餘入を見たるも本年は更に一億萬斤以上に上るべく將來天日製鹽事業の完成するも近は益々斯に輸入を見るべければ當局に於ても之に對し何等か方法を研究中なるも何分淸國鹽は殆んど無代價同樣の廉價を以て移入せるものなれば當分價格に於て競爭するの途なく自然天日製鹽の完成を待ちて之れを市場より驅逐するの計をなすより外なしと云ふ

●漸進と急進
▲危險分子の兩主義▼
併韓前後より或る種の危險分子横行し永久に之を絶つべからざるは既に何人も認むる處なり現に最近の檢擧に係かり近く公判に移されんとする安泰等一黨の如きは則ち夫れにして彼等の如き徒輩を檢擧せん乎幾百千を數ふるも盡くし能はざるなり唯だ法律上未だ其罪を構成し居らざるを以て之を羅致し能はざるに過ぎず思ふに彼等の孰れも一種の危險思想に惑溺し如何に敎ゆるも到底覺醒を求むべからざる輩なるが其手段に到りては自から急進主義を抱くものと漸進主義を以て目的を達せんと欲するものとあり彼の安命根等は急進手段を以て乾坤一擲を試みんとするものなり又漸進主義は梁起鐸等の一派にして各道に都察使なるの、設け徐奏樂あり寺內總督の聲に[illegible]

●在監人の激增　（某法官談）
朝鮮に於ける囚徒數は毎月百餘人の割合を以て增加し來り最近の調査によれば七千三百五十七人を示めし現在の七監獄十三分監は殆んど滿員の狀態に在り蓋し往時の朝鮮に在ては殆んど毎年恒例の如く大赦令行はれたる爲め處罰者如何に盛んに行はるゝも監獄は常に空虛となり居りしが新政後は此惡風全然芟除されたる爲め此激增は當然の結果なりと聞ふべし而して之を吾內地の現在四七万二千三百七十九人を算し人口七百十七人に對し一人の囚徒あるに比すれば朝鮮は千七百二十三人に就き一人なるを以て今後尙ほ大に增加すべきや明かなり故に其改良を計ると共に財政にして許すべくんば根本的計劃を立てざるべからずといふ

●仁川築港起工式
仁川築港起工式は豫定の如く十一日午前八時より同地日本公園太神宮に於て先づ奉告及地鎭祭典を執行荒井度支部長官坂出技師、屋不破兩事務官氷井技師久水仁川府尹宮木仁川稅關長岩崎民長等列席神官の祝詞奏上拂各參列者の禮拜ありて後仁川稅關構內の起工式場に向ひ玆には既に寺內總督大久保軍司令官外波少將明石警務總長早下秘書官中山大佐等の來れるありて愈々擧式時間となるや總督以下は第一官丸及び外二隻の稅關小蒸汽に分乘し基石沈下點に到着寺內總督揮毫鎭護の二文字を刻せる基石を積める船に一同乘移り神官の修祓と同時に五分島より五發の煙花打揚げられ之を相圖に港內外碇泊大小の汽船は一齊に汽笛を鳴らし陸上の工場及之れに應じ日本公園にては軍樂隊の奏樂あり此間に久水府尹令孃の手より基石の覆を拂はれ總督自ら基石の釣鎖を解き爰に日出度基石沈下の式を終へ總督以下は再び官丸にて稅關棧橋に上陸直ちに日本公園の築港起工祝賀會場に向へり

●築港祝賀會　は日本公園內に設けられ午前十一時開會食堂開始岩崎仁川民長の挨拶に次で寺內總督祝辭を述べ獨逸總領事は各國居留民を代表し祝辭を述べ終りて陸軍樂隊の奏樂あり寺內總督の發聲にて同天皇陛下の萬歲を三唱し久水府尹發聲にて總督の万歲を三唱し古城京城民長の發[illegible]

●三南線の工事　最近に於ける三南鐵道工事の槪況左の如し
△第一工區　大田起點十二哩間は五月末豫定以外の效果を擧げて全線竣工今や營業開始に差支なき迄に至せり而して工事請負者と當局間とに授受を了り目下補修工事として護岸石垣側溝下水等の修築に從事し居れり
△第二工區　三南線中にての難工事にして大田起點二哩より二十四哩五十鎖間の工區は監督者の精勵と請負者の熱心なるが爲め六月末にて工事全部終了し砂利撒布工事亦終了となり本工區間工事堀切土約四萬九千坪餘橋梁五ヶ所開渠十八ヶ所なり其他護岸石垣伏樋等枚擧に遑あらず監督所なる工溪工事詰所は三四日前連山停車場構內に移轉執務し居り七月初旬迄には連山停車場完成し營業列車の運轉近きにあり該工期限より約一ヶ月早く完成を告げしとは當局者の勞苦多なりしを知るべし
△第三工區　連山江景間は前工區に比し平坦なる點に於て工事案外に捗取り連山論山間の線路引廻を開始し建築列車運轉中なり
△第四工區　江景裡里間及び第五工區群山支線裡里群山間は既に起工中に屬し材料の供給上群山を控ね居る爲大に利便を得當局にても本年中には是非竣工せしむる意氣込にて工事も晝夜兼行の有樣なりと

●宇佐川總裁歸京　東上中の宇佐川東拓總裁は十二日午後八時十分着の列車にて夫人同伴歸京すべし

●柴田總裁の入京　十一日入京の豫定なりし柴田拓殖局總裁は風波のため下の關に一泊十二日午後八時十分南大門着巴城館に投宿の筈なり

●中村農務課長　各地視察中なりし中村農務課長は十三日夜南大門驛着歸任の筈

●絹織物工場計劃　年々淸國より朝鮮に輸入する綸子紋綾等の絹屬織物は其金額現に百餘萬圓を算し輸入貿易上の大宗たり故に之を驅逐するは日鮮經濟關係の上に甚大の利益なるのみならず又併合後の狀勢に鑑み特に有望の事業たる〻期待し得べし然るに從來兎角閑却されつゝありしは大に遺憾とする所以なりとて京都西陣の某氏過日渡來し目下實地的調査を行ひ居れり調査の結果によりて京城に一工場を設くべく而して當該官廳にても適般計劃の成立を歡迎し居れり

▲人さまく▼（五十）
松寺竹雄君
松寺竹雄君が司法部刑事課長といふ要職を去つて京城地方裁判所檢事正に轉じたのは何人も見て以て意外とする處であつた、何故なれば君は永く中央扶政に從事し、特に司法擬委任當時の過渡時代に在て、倉富博士の帷幕に參し翊贊する處頗る多かつたからである、蓋し此轉任は君夫れ自身も意外とする處であつたらう、然るに偶々中川一介君が大審院に榮轉し、其後任に適當の人材を得なかつた爲め遂に君が之に廻はつたのである、元來君は檢事出身だ、二十六年帝大法科卒業後、直に檢事に任じ玆に十何年間である、故に經歷を聞けば不思議でも何でも無い、尻に羅門に遊び其修養頗る深く、崇高なる彼の人格は澆季の當世に於て蓋し容易に求むべからずであろう、生地は石川縣。

●製莚會社の計畫　東京の實業家安井某外數名大邱に製莚株式會社を設立の計畫にて目下調査中なりと而して會社は本店を東京に置き支店を大邱に設け業務は專ら支店にて執る筈なりと

●韓銀貨幣發行高通報　六月四日より同月十日に至るもの左の如し
發行平均高　二一、四七三、九五七
內正貨準備發行平均高　九、九三二、一四三
保證準備發行平均高　一二、七四二、八一四

▲京城手形交換高▼

六月	金高	枚數
十二日	一七六、五三一、九七〇	八五〇

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客（十一日分）
乘車客　一三三一　降車客　一七八二
乘車賃金　二、〇七六、九八
▲南大門驛荷扱高（十一日分）
發送　五八噸　到着　三三六噸
貨物賃金　三五一、三九
▲龍山驛乘降客（十一日分）
乘車客　二四七　降車客　二三〇
乘車賃金　一六九、八六
▲龍山驛荷扱高（十一日分）
發送　五噸　到着　三五一噸
貨物賃金　二一、五三

●相場電報（明治町四村支店着）

	寄付（十一日後場）	引（十二日前場）
▲鐘紡 引	三三五、五〇	三三四、〇〇
▲京電 引	三三五、五〇	三三〇、〇〇
▲鐘紡 引	五九五、〇〇	五九七、〇〇
▲新紡 引	五九五、〇〇	五九五、〇〇
▲大阪 引	九九六、〇〇	一〇〇八、〇〇
▲電燈 引	一〇九、〇〇	一〇〇三、〇〇
▲東京 引	四九、一〇	一〇五、五〇
▲新株 引	八六、一〇	八八、一〇
▲大阪 引	八六、四〇	八七、一〇
▲株式 引	一二三、九〇〇	一一四、九〇
▲同直 引	一二三、八〇〇	一一四、二〇
▲取引	一三、六〇〇	一一五、〇〇
電不明		一一三、五〇

●大坂期米電報
●十一日後場　六月寄十六圓九十八錢▲止十一圓九十六錢▲七月寄十七圓二十一錢▲八月寄十七圓二十一錢
●十二日前場　六月寄十六圓九十五錢▲止十六圓九十七錢▲七月寄十七圓二十錢▲止十七圓十九錢▲八月寄十七圓二十七錢▲止十七圓二十二錢

●仁川米豆取引所
●十二日前場六月出來不申▲七月寄十一圓三十五錢▲高十一圓三十錢▲止十一圓三十八錢▲八月寄十一圓八十五錢▲最高十一圓八十三錢▲止十一圓八十錢

●內地巡禮日記（十六）　水浪生
五月十六日の續き、內宮聖域より新道に依り、外宮に向かつて行けば左側の丘上に聳ゆる洋館が徵考館で、一般公衆よりの奉納物を保管する所だ、閒、神宮司廳は公衆より神宮への奉納物を一切受理せぬ、併し特志者よりの折角の奉納物を全然卻くるも氣の毒の至りだ、ソコデ奉納の途を開き、特志者の意を安んぜしめんが爲めに作られたのが徵考館で、幾千點と云ふ種々の奉納物は現在此館に保管され、陳列されて公衆の縱覽に供せられてあるのだ。外宮聖域の入口に達し人車を捨て、步して神殿の御前に到れば玆に第一玉垣の御門前に於て無數の男女が禮拜しつゝあつた、余は淨水に自らを淸め、進んで御門前に額づき禮拜默禱、內宮に於けるが如く爲した、暫くして御門前を退き玉垣に添ふて步を移せば、玆には多くの雜人共が水と雜巾とを以て玉垣に付ける苔を拭ひ落して居た、玉垣に苔、斯は余の眼には却つて良いと思つたカミサビて見へて而るにドウ云ふ必要からか神宮司廳は心なき雜人共をしてソれを剝ぎ去らしめつゝあつた。可惜必ず言はん近き御母陛下の行啓あるべきを以て陛下の御目障りとならるらしめんが爲に苔を落すなりと、果して然らば大なる異論が余にあるのだ、併し相手が神宮司廳で今や行啓前の準備に忙しさを極めつゝあるを知るものから默して聖域を出でた。
內外兩宮の參拜を了り、歸路某神職を訪ね、御分靈、遙拜所皇學及び神宮奉齋會等の事に就いて質した、神職余が爲めに說く事懇切を極め、余をして大に廟に關する智識を大に增さしめた。五二館ホテルに歸り、晩餐の後ちパアレに於て同宿の三外人に向かひ今日神職より得たる大廟に關する智識を受賣し、暫くしてホテルの番頭に通知を依賴し、單身古市の備前屋に赴き伊勢音頭の踊を見る。
●備前屋●は古色蒼然たる遊女屋なり、●杉本屋●と昔しより並び稱せられたる●大遊女屋なり、然れども油屋の主人は先年耶蘇敎に歸依し、遊女屋業の不可なるを悟り、其抱へ娼婦を解放して自らは旅館業に轉ず、主人伊勢の代表者尾崎行雄と相識し、初期以來の尾崎の選擧運動費は此油屋の主人が受合つて居る。杉本屋は當代の主人と[illegible]

余は五二館よりの見物にて[illegible]に合せられず、只通つた。[illegible]運いで來るいるところの形勢いを頗るいる我意を得[illegible]

▲治外法權[illegible]
[illegible]の意に因つて見限[illegible]築港も優曇華の花[illegible]起工式を擧げた[illegible]ゲルガ述べた祝辭[illegible]る事になつたのは[illegible]つた事は勿論だが[illegible]の夕ー物であるの[illegible]らぬ事は何が故に[illegible]物を仁川へ贈つて[illegible]は云はん斯は時世[illegible]と、併し記者は云[illegible]年間仁川港民が熱[illegible]たる結果と▲築港[illegible]悲慘な話がある、[illegible]かぬ、只だ一般の[illegible]喜びは過去の悲慘[illegible]云ふ事を忘れては[illegible]築港祝賀委員會[illegible]

[illegible]仕方であつて、記[illegible]だ、ドウカ此際過[illegible]表彰する成方法を[illegible]云つて何も金を掛[illegible]港祝賀會に於て寺[illegible]嚴なる態度を以つ[illegible]して祝辭の原稿を[illegible]めか此日は言葉に[illegible]督を相殺らすの矢[illegible]た發明は築港踊り[illegible]し總督が拍手の光[illegible]く驚いた樣だ、併[illegible]內さんとて本の股[illegible]い▲某官吏は祝賀[illegible]しては不敬に當る[illegible]し總督は同じ「君が[illegible]つて後ち陛下の[illegible]吏は外國領事連を[illegible]揚げんとした、併[illegible]杯の儀では上れぬ[illegible]仁川の重立つ人々[illegible]衝突があるとの事[illegible]したからつてツウ[illegible]

[illegible]●強者の同情　天賦生[illegible]
[illegible]常に幸福なるものは不幸者の如何に同情すべきものなるかを知らぬのだ[illegible]

●演藝だより
歌舞伎の兩部が其の馬鹿らしき競爭を大に[illegible]當地觀劇界に貢獻しつゝ儲けんことに[illegible]興行に關する總てを[illegible]に議一決し[illegible]の如くなど[illegible]込二十[illegible]破る〻斗りの喝采を博しつゝある大坂[illegible]三日夜の狂言は[illegible]

▽一日一題△
疾風怒雨、貪鳥[illegible]草木欣欣、可[illegible]人心不可一日[illegible]
二郎（稻葉）同[illegible]井）同初子（[illegible]更津彌次　北村[illegible]（藤島）巡査大[illegible]

群山俄道中記

へ便（其會便りの續き）

五月三日 山靈水神生

昨夜群山日報の龍門子がやつて來た。彼は余の審知で修飾の無い男である、座つて話す寝て話す立つて話すうして一向夫れに頓着せぬ。彼の舌は常に必と同じ形式に動いて居る、どんな思想感情でも忌憚無く平氣で端的に發表する、所謂情を叙べて飾らず意を語つて偽らずと云つた樣な、光風霽月天眞爛熳、何とも可愛い男である。それだけ彼は熱情で熱情の半面には又小兒の様な處がある、彼と相對して外交的辭令を弄する時多くの人は、寧ろ自己の如何に罪深かきかを感ぜずには居られまい。長身肥大豊富なる血に依りて生ける彼は情に活き、理に據りて據く可き算盤の數字に疎く、加減乘除の打算的處世法に暗き彼は、正貨としての實質以上に融通紙幣の、處勢的世渡りに下手な男である、ろして折々、充實すれば余裕が無くなるなど〻尤らしい事を云ふ成程物は充實すれば余裕が無くなる、人間でも其通り、滅多に智慧はかり詰め込めばユトリが無くなつてコセッキ理屈張つて來る。日本人は一体にコセッキ理屈張る、支那人朝鮮人はボンヤリとしてユトリがある、ユトリの有る朝鮮人はコセック日本人に仕てやられる、やられる朝鮮人は氣がヌル〳〵日本人は氣が早い大きな駒ケ嶽が少さな玉緒に時には負ける、負けた駒ケ嶽は勝つた玉緒より矢張り強い、其時は只玉に氣合の先を取られて駒の呼吸が外づれたのだ。若しもボンヤリ立つた駒の後ろから玉が不意に飛びつけば十度、十度必ず勝てぬ、夫れは相撲には相撲の要意がない。要意は何時でも不要意に勝つ。不要意な朝鮮人がアチラ向いてボンヤリ立つて居る後ろから、不意に突きだして相撲に勝つた積りの日本人があるが向きなはつて赫ッと意氣込み手に唾きしてヨイショと來たら、ソク〳〵無難作には行かぬかも知れぬ、只夫れ朝鮮人にそんな機敏な運動神經の知覺力が有るかどうか一つの疑問。自我中心の常陸山とは事違ひ正直な駒ケ嶽は、不意打ちされても悟らない負けても笑つて居る。國家中心意識の頗る明かでない朝鮮人は夫れだけ向上的觀念の反撥的彈力が弱いかも知れぬ。只夫れ如何に駒が正直でも生命上の危害に對しては反抗せず慣怒もせぬ、是れ生命は自己生存の根本義なればである、嗚呼一千萬の朝鮮人は常に一個の我を求めて、新なる生命を退ふて居る事を忘れては成るまい、と同時に吾人日本人の眼には朝鮮は日本でも、朝鮮人の頭には朝鮮は朝鮮である事を理解して、我々朝鮮に力むる者に活眼以て横暴を擯ねばならぬ。

こんな事を考へながら寝て居ると時計が六時を打つた、今日は六月四日である、午前十一時から益山郡黄登山の麓益水利組合工事竣工式に列せねばならぬ、六時と約した龍門はまだ來ない、七時——今晩の雨で躊躇したらしい、八時——余の準備は整つた、龍門はまだ來ない、宿からは船に遅れると急き立てる、龍門を電話で促せば直ぐ往くと云ふ、直ぐが五遍重なつて九時になつた。開會は十一時、餘す處二時間で六里半の式場までは到底覺束ない、併し幸ひ雨の爲め總ての列席者が二の足踏んで遲れたので開會も二三時間は延びんとの事、で十時——電話七回龍門衛は未だ來らず、最早待てぬと一足先きへ波止場に出れば間一髪發動機船は既に錨を離れて漫々たる錦江の中流を、川鼠の如く輕快に漣を立てゝ駛つて居る、已を得ず宿に引返し事務所に通ずれば幸ひ馬車が一つ殘つて居るから直ぐに事務所に赴けば水利組合の山田小學校長と有志が見えて居る、龍門はやつと遲れ走せにノッ〳〵やつて來た、洋服に下駄履き、龍門もとんな男である、馬車はと見れば特製の田舎廻りには珍らしい立派な物、龍門呼んで貴賓馬車と云ふ、一鞭を加ふれば蹊路地を突つて雨後の泥濘幾多もると正に十尺

京城 本町の畫火事

△屋主は注意せよ

十一日午前九時頃京城郵便局前雜貨商野田新次郎方より發火せしが連日の旱天に家屋乾燥し居りし事とて僅かの時間に一面猛火となりしも警官消防の必死の働きに因り全燒五戸半燒二戸を出したるのみにて十時鎮火せしが偶所柄とて人々一時は安き心もなかりし

發火の原因 は野田方の雇人加島政吉(九)が湯を沸す可く命ぜられ裏臺所に七輪に火を起す際し飽屑及木炭を入れ石油を掛け火を點じ置きたるまゝ隣家の裏にある水道栓に水汲にゆきたる不在中火は壁に燃移りしものにて通行人發見し家人に告げ騒動となりたるもの

損害額三万餘圓なりと

因に火元野田新次郎は**火元を否認**し隣家二階の間より發火せしと申立居れりと而して此の災厄に罹れるは鈴木精乘齋店鳥居理髪店辻村朝鮮物産土産物商店、江里口紙店及び野田雜貨の五軒は全燒し聖公教會及平田雜貨店は半燒なるが當時の火の手餘る速かりしとて罹災者は殆んど着のみ着のまゝの姿なりとは氣の毒なり

● 仁川祝賀會の二日目

十一日の仁川築港起工式祝賀會は別項所載の如く未曾有の盛會にて遠く京釜京義の沿線より觀覽に來りし者不尠約四萬餘人の人出と註せらる然るに各部委員の用意周到にして任務に努めし故些細なる事故等なくして始尾克く濟みて一日を終りたるが昨二日目も餘興等は前日同樣にて中央料理店の藝妓は朝來九時より伊達奴姿にて市中を練廻り初め第一着に賑はしめしかば之れに續て各々舞二輪加角力等の余興及煙花の打揚にて市民は只だ狂熱の体なり

▲酒は只だ飲める 本町四丁目には宅合名會社支店で樽酒數十樽に呑口を付け列べ置き一般通行者を歡待し深見酒店にては太神宮大鳥居の前に積樽をなし接待所を設け滑酒賦印の披露として通行者を接待し飲酒を勸めしより飲酒家の喜びや如何斗り去迚酒來の如く醉ぜれ者の少なかりしは一般人智の向上せしなるべし

● 十一日の仁川市中雜觀

十一日の仁川築港祝賀會は無事に舉式を了し豫定以上の殷盛を見た、夫れも其の筈日曜日と云ふのに加へて前夜來からの彼の空であつたもの、雜觀の一二を記す

▲人の仁川 船に依りて車に依りて各地より當日迄に仁川に運び込まれた人の數のみにても實に五萬に達したと相である餘り廣からざる仁川市中の雜沓は之れに依つて推知することが出來よう

▲提灯と國旗 此の偉大なる人が其の數を盡して各町各戸に正しく吊されたる紅白の提灯交叉されたる國旗の間を縫ふて歡呼の聲を揚げつゝ往來するのを高い所にわつて見下して居ると恰で其軒に揭げられたる提灯と國旗人達が捧げ持ちたるかの如くに見へる

▲舞臺と山車 藝妓連の舞臺と花町側の花山車とは全く當日の花であつた各町を縫ふて式場に入り式場を出で〻各町を囃し廻つた勞は謝せねばならぬ

▲赤垣源藏 事務所附近に敷餘所の造物が出來て居たが浪花節のれ愁榮赤垣の源藏不恰好に良く出來てたアの竹皮包を新聞紙で包んで漫くの機轉はなかつたか

▲素人大相撲 濱町に於ける士俵の賑ひ大したものでもつた山村連の手踊り鮮人の舞踊、俳人の餘興等夫れ〲に其特長を發揮して面白かつた

▲朝鮮新聞社 主催の提灯行列は蒼穹に懸れる名月と而して各戸の軒下に點ぜられたる提灯と相倚り相俟つて夜の仁川を獨占したり蓋し空前の盛觀なりし因に祝賀會事務所にては即日仁川券番に對し金三百圓を慰勞として贈與したりと

● 民團議員を恐喝して

福岡縣糟屋郡箱崎町當時慶尚南道馬山府東城里居住山崎三太郎(三三)は性放縱無賴にして虚言に妙にして萬空若くは千一の異名を有し轉て放蕩にて廢嫡となり三十八年三月渡鮮以來土木建築請負業者と自稱し京龍仁間を徘徊し正業に付かず飲酒に耽り常に請負業者に喧嘩口論を吹き掛け因縁强請を擅にする奸惡の徒にして四十三年三月七日向ふ二年間朝鮮在留を禁止され乍ら本年三月一日近龍山元町に居住し同三日馬山に轉住せし朝鮮在留取締違犯者なるか之れより先き知人なる漢江通り二丁目民團議員村井甚七氏より四十年一月家屋建築を請負たる際其の材料として甚七の指圖に從つて鐵道監部材料倉庫より木材其の他數十萬圓の物件を窃取其の建築用に供したるものにて當時未決監に收監されたるも甚七を獄舍に入れざる樣庇護したるに甚七は却つて其の厚意を無にし邪魔者扱ひすとて憤慨し舊惡を暴露す可しと恐喝なる手段を以て甚七を恐喝し金二百圓を騙取し京城地方裁判所に於て懲役一年に

● 膽取事件上告

釜山寺別院僧侶井上香禪及滋賀縣人同僧侶藤井顯證の二名は第一審第二審共有罪となりしを不服として上告申立て一件記錄京城高等法院に着し檢事の手にて記錄取調中なりと

● 市內に天然痘發生

京城本町七丁目二十三番戶伊藤龜太郎長女静子(三)は嚥、氣管支肺炎に罹り約三十五日許り總督府醫院に入院治療を加へ終ひ頃ろ退院せしが十日夕方突然發熱し四十一度餘に上り醫師の診定には天然痘なるやも測り難しとの事に兩親もそれ〳〵警戒し居りしところ果然十一日朝發疹し午後二時死亡せしに付き警察民團役所よりは警官、所員、醫師等出張して豫防消毒法を施行したりと醫師の語る所によれば類る惡性劇烈の天然痘なりしが其原因に就ては未だ斷言し難きも特發性ならん尚は右患者は三歳なれど生來多病の爲め一回も種痘の機會を得ざりしものなりと何は兎も角子を持つ親は注意が肝要なり

● 東京二葉屋の發展

東京市赤坂區溜池町自轉車直輸入業合資會社二葉屋は我國自轉車界有力なる商店にて創業以來十三年の星霜を經專心斯業の發達を計り常に世界各國の嶄新なる長所を採用輸入し來り現業務執行社長猪俣吉平氏並に猪俣恭作氏共信仰堅きクリスチャンなれば同店經營に當り誠意と確實を旨とするが故に一般取引者間に非常なる信用を有せり現に同店は英國バーマーダイヤ會社イデーコースター會社並に同國コベントリー市シンガー自轉車會社東洋總代理店たる外諸種部分品に付きても歐米の大會社と特約を有し盛に輸入販賣をなし居れり又右猪俣恭作氏は目下視察の爲當地に來遊中なり

● 無罪だから放免

仁川濱町一丁目歌舞伎座內前川留三郎は本年三月十六日京城にて金錢に窮し大和町一丁目料理店榮月樓酌婦西野よし子を詐き衣類を騙取入質したりとて其の筋に檢擧され京城地方裁判所仁川支部に起訴され數回に涉り公判開廷せられ被告辯護人特許辯護士北島郡氏綿密に證據を取調べ證入として被害者西野よし子外二人の酌婦を喚問申請取調の結果入質を承諾して單に受質返還を遲延したる事判明し無罪の宣告ありたるより被告人は大谷裁判長の公明なる判決と北島氏の斡旋とを感謝し居れりと

● 惠み金

仁川新町河野昇の一家悲慘なるを聞き本町河野竹之助氏より金二圓惠與さる

●諸公債諸株券現物賣買、迅速確實に御取扱可申候

兼業 既製洋服卸小賣 諸官衙御用達

京城本町三丁目

大阪野村商店代理店

田中友吉商店

電話九九三 振替電話（タ）

浴衣地大賣出し

六月十一日より十八日まで

浴衣地新柄は申す迄も無く羽二重地薄物に至る迄賣出し中特に勉強仕候間是非御高覽願上候尚見切品澤山取揃置候

京城本町二丁目

全 圓城呉服店

電話百五十七番

珍柄新荷着

從前の通り（一反に付）

四圓 五圓 六圓 均一

京城明治町二丁目（電話四十三番）

秩父屋關根出張所

本邦學界の名譽 世界の醫藥兩界に誇るべき一大發見

TUYOL ツヨール

淋病内服新藥

○本品は藤本藥學士が多年研究の結果發見せられたるものにして加ふるに上記專門醫大家に依つて藥化學的試驗及臨床的實驗等に於て從來公知のバルサム劑に比較し殺菌力卓越し胃腸障害等の副作用を絶對に誘發せず利尿の効尤も著しきが故に泌尿器疾患殊に淋毒性膀胱炎、尿道炎、淋渇及一般急性、慢性、淋病に優秀なる偉効を奏する理想的治淋劑なり

○本品は原液五百瓦、二百五十瓦、百瓦、廿五瓦、カプセル百粒、五十粒三十粒入の七種あり

▲到處有名藥舖に販賣す、説明書無料贈呈す

東京銀座一丁目

發賣元 ツヨール商會

振替貯金一九七二九番

京城本町一丁目

韓國特約店 山岸天佑堂

電話三七二番

振替貯金口座二〇三番

銀行一般の業務精々御便利に取扱申候

株式會社 十八銀行支店

京城黃金町（銅峴）

電話四二〇番 五八〇番

○本店 長崎市

○日本、朝鮮の各樞要地並に露領浦鹽、淸國安東縣、大連に支店、出張所又は爲替取引先有之候

○株式會社長崎貯蓄銀行京城代理店として貯蓄預金取扱申候

◎貯蓄預金

○元金百圓に付日歩一錢二厘

○一口一錢以上何程にても御預り申候

貯蓄預金受拂共精々御便利に取扱申候

●確な事實

先づ仁丹を噛んでから飲む

莨や酒の味の佳さ!!

口に言はれず、筆に書かれず

諸君!! 即刻御試しあれ

●仁丹飲む人徳な人

仁丹は飲むこスグ・キクよい藥 雨が降ても槍が降ても いつも仁丹持つが肝心

仁丹主効

消化毒消	舟車の暈	のど渇き	食慾不進
悪酔宿酔	頭痛目眩	溜飲胸痞	氣付嘔下
疲勞倦怠	胸腹の痛	時候傷り	香聲美妙

朝鮮代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房

蚊帳の必要正に急なり

最新式縫目なし染分蚊帳菊水枕蚊帳を初めとして關戸蚊帳株式會社特製品全部ピンデス入らず旅行便利かやに至る迄色々取揃へ蚊帳なら唐川へとの御評判を益々發揮致し充分勉强致します

今回は特に六月五日より六月二十日迄 正札より五歩引と致します 現金に限り

殊に地方よりの御注文は御安心遊ばす樣最も迅速に御發送致します

京城明治町二丁目（電話二六一番）

仝 唐川呉服店蚊帳部

資本金五百萬圓

神戸海上運送火災保險株式會社

出張所 京城明治町二丁目（電話一五四九）

內科小兒科

診察時間（自午前九時 至午後二時）

京城明治町三丁目

醫學士 村上龍藏

電話六一三番

肉エキス葡萄酒（一名キンカーニス）

淳良なる甘味葡萄酒と著名なるリービヒ社肉エキス、麥芽エキスとより釀造せる强壯補血劑なり

京城本町三丁目

㊂ 龜屋商店

電話二十七番 振貯二十七番

義齒術全般

京城南山町二丁目（伊藤組南に入る）

小倉三郎

電話

眼科專門

前大韓醫院眼科部長

京城本町六丁目（元軍司令部通り）

金井眼科醫院

電話一五五六番

金井豊七

特約品

米國スタンダード製松印石油
下總國野田㊉印醬油
仁川日本醬油會社龜印醬油
下總國萬上印味淋壜詰
尾張國名古屋㊇印酢
汙浦根炭及日本木炭
英米煙草會社製品各種
神戸布引礦泉所製馬蹄印
豊後湯の花精製品（入浴用）
兵庫縣灘魚崎銘酒櫻正宗
其他和洋酒、米、麥、石炭、ふかん、洋臘、瓦、煉瓦、明太魚、鰊昆布、藥膏蕊、味噌、罐詰、干香其他乾物類一式

京城本町六丁目

雜貨部 仝藤富國太郎 本店

（電話三〇八番）（電略ク）

京城南大門市場

貿易部 藤富國出張所

京城永樂町二丁目

木炭部 藤富國出張所

◉貸金

組合員に限り極秘密に低利融通可申候

黃金町二ノ一五到着小路向 高橋

仝 芙江公州間 定期出帆廣告

芙江發毎日後一時四十分公州着後六時
公州發毎日前七時芙江着後四時半船內
御客樣の娛樂用として新聞雜誌碁將棋盤等の備付あり

京釜芙江驛前 中條運送芙江支店

キ 六月中 滊船出帆廣告

海州行

安東丸 二日、十二日、十六日、廿日、廿四日

海州丸 一日、四日、十四日、十八日、廿二日、廿六日、三十日

漢津富里浦屯串行

二省丸 一日、七日、十二日、十四日

三吉里泂倉島行

成歡丸 一日、十七日、十九日、廿二日、廿四日

仁川本町一丁目

合資會社 秋田商會船舶部

電話一七三番七五〇番